

「地域企業」の持続的発展に向けた実践提案

千年を超える悠久の歴史に培われてきた京都では、多くの知恵が集まり、固有の文化が育まれてきました。

文化は実に懐深く、世の中の様々な動きの底流を成すものです。ものづくり等の経済活動が新たな文化を生み出し、磨き上げてきました。また逆に、人や物の交流から文化が発展し、そこに産業も栄えてきました。産業と文化が密接に繋がりながら、今日の京都を築いてきました。

京都では、先義後利や不易流行等の理念が受け継がれ、地域と共に発展してきた老舗企業が多数存在しています。また、伝統産業は文化を支えてきただけでなく、精密機器やバイオテクノロジー等、数々の先端産業を創出してきました。今日においても、大学等との連携の下、世界をリードする技術が生まれ続けています。

このような産業の継承と発展を支えてきたのは、「めきき」の文化（本物を見抜く批評眼）、「たくみ」の文化（ものづくりの精密な技巧）、「こころみ」の文化（進取の精神）、「きわめ」の文化（極限まで研ぎ澄ます意欲）、「もてなし」の文化（来訪者を温かく迎える心）、「しまつ」の文化（節度のある生活態度）です。

これら先人が大切にしてきた生き方の哲学は、私たち中小企業の未来を切り拓く羅針盤でもあります。

人口減少の進行、地域コミュニティの弱体化、社会経済状況の不透明感の高まり等、数々の困難に直面する今日、私たちも、京都に蓄積された知恵から学び、互いの強みを生かして、融合・連携し、中小企業が持つ潜在力である「未来力」を発揮すれば、必ずや未来を切り拓いていけると確信しています。

私たち中小企業は、京都経済の屋台骨を支えているだけでなく、市民の暮らしや文化、安心安全、地域コミュニティを支える存在です。

だからこそ、これからは、自らのことを、規模の大小を基準とした「中小企業」ではなく、地域に根ざし、地域と共に飛躍する「地域企業」と呼ぶこととしたい。

私たち「地域企業」は、先人が大切にしてきた哲学を受け継ぎ、未来に継承していくと同時に、互いのネットワークを活かしながら、「未来力」を存分に発揮していくことを決意し、ここに産業界の皆さん、市民の皆さん、行政の皆さんと共に取り組む実践提案を取りまとめました。

創造的で活力あふれる京都の未来を築いていくため、皆さんの主体的な実践と本提案の更なる進化を心から願うものです。

平成30年3月26日

中小企業未来力会議 改革実践グループ

芳村 敦（世話人・京都青年中央会監事）

浅野 雄祐（世話人・伏見大手筋商店街振興組合理事長）

岡野 恵美（京都青年中央会会長）

岡村 充泰（株式会社ウエダ本社代表取締役社長）

宿野 秀晴（京都中小企業家同友会政策委員長）

竹村 一鷹（京都商工会議所青年部会長）

平井 誠一（西利代表取締役社長）

松本 義正（京都府旅館ホテル生活衛生同業組合青年部会長）

吉川 忠男（サンケイデザイン株式会社代表取締役）

多様な働きがいで担い手を育み続ける京都へ 〈京都ならではの働き方・担い手育成〉

- ★ 産業界：自社の魅力発信、多様な働き方の実現
職種や業務内容だけでは表せない地域企業の魅力。それぞれの立場で自社の魅力を再認識し、多様な働きがいを実現させていきましょう。
- ★ 市民：地域に目を向け、未来のビジョンの具体化
多様な担い手の力が、街の発展の原動力。自分が暮らす街を支える身近な企業の仕事に目を向け、その街を大切に作るチカラを育み、地域の一員として活躍するライフプランを描いてみましょう。
- ★ 行政：京都ならではの働き方改革と一体となった担い手育成への支援
京都ならではの多様な働きがいを実現させ、地域企業に新しい担い手を迎えやすい環境づくりを。

先人の知恵と技術を繋ぎ続ける京都へ 〈伝統産業の活性化〉

- ★ 産業界：伝産品の積極的な活用
知恵と技術の継承は隗より始めよ。地域企業は生活に根ざした地元の産品を愛し、あらゆるシーンで積極的に京都の品々の活用に努めましょう。
- ★ 市民：生活の中で和の文化を嗜む
暮らしの中に息づく文化を再認識。良いものを直しながら長く使う先人の知恵や暮らしの美学を大切に、四季折々の暮らしの中で和の文化を嗜みましょう。
- ★ 行政：伝統産業と担い手の円滑なマッチング、販路開拓への支援
地域企業が京都の技術継承と後継者育成に取り組めるよう、新たな担い手探しと、販路開拓に向けた支援を。

地域で地域を支え続ける京都へ 〈地域経済の活性化〉

- ★ 産業界：企業間連携の強化で中小企業の力を結集
地域企業の強みはネットワーク。企業間連携によって京都のひと・もの・ことの魅力を結集し、互いに発信することで地域経済を活性化させましょう。
- ★ 市民：地場のものを購入し、京都を活性化
地場のものを買うことで、地域経済を活性化。日々の暮らしの中で街や地域企業の魅力を知り、人に伝え、地域の活力を高めましょう。
- ★ 行政：商売や創業がしやすい環境づくり
地域企業を増やすために、地域企業が自助努力の中で新たな商売にチャレンジできる場の提供など、創業しやすい環境づくりを。

文化を活かし魅力を引き出し続ける京都へ 〈観光産業の活性化〉

- ★ 産業界：多様な事業者の連携による京都の魅力発信
多様な産業と密接に関わりあう観光産業。京都の案内役として、積極的に異業種とも連携し、京都の文化や地場産品などの奥深い魅力を発信していきましょう。
- ★ 市民：おもてなしの心で京都の文化やマナーを伝える
京都市市民憲章のおもてなしの心を再認識。市民も旅行者も気持ち良く過ごせるよう、京都の良さや文化・マナーを幅広く伝えていきましょう。
- ★ 行政：受入環境整備支援とマナー啓発強化、京都の魅力発信支援
マナーも文化の一つとして旅行者に学んでもらうための啓発強化とともに、事業者の受入環境整備や旅館など京都の魅力発信への支援を。

自然環境とともに生き続ける京都へ 〈林業の活性化〉

- ★ 産業界：市内産木材の活用
地域企業から新たな需要を創出。地域企業が市内産木材を活用し、市民に発信することで、新たな木材需要をつくり、京都の森林の価値を循環させましょう。
- ★ 市民：木の温もりの再認識
私たちの暮らしを支え続ける森の恵みを次世代へ。京都の自然を暮らしの中で感じ、木に触れ、木の温もりを再認識してみましょう。
- ★ 行政：他産業との連携のきっかけづくり
市内産木材の新たな需要創出と魅力発信を支援するため、他産業との連携モデルの提示など活用方法の検討を。